



SCUBAPRO

G2

クイックユーザーガイド

電源ON:右ボタンを長押しします。

戻る:右ボタンを長押しします。

ホームに戻る:左右のボタンを同時に長押しします。



ボタン

押す

いずれかのボタンを押し
て放す動作。

長押し

いずれかのボタンを1秒
以上押し続けてから放
す動作。

陸上でのボタン機能 (スキューバモードとゲージモード)

	左ボタン (メニュー)	中央ボタン (ログ)	右ボタン (点灯/消灯)
押す	メインメニュー	ログブック	バックライト
長押し	酸素設定	ガス一覧表	コンパス

ダイビング中のボタン機能 (スキューバモード)

	左ボタン (ブック)	中央ボタン (その他)	右ボタン (点灯/消灯)
押す	ブックマーク+ ストップウォッチのリ セット	代替画面を順に表示	バックライト
長押し	手動でのガス交換を 開始	代替画面を順に表示、 組織の飽和状態、ダイブ プロフィール/画像	コンパス

ダイビング中のボタン機能 (コンパスモード)

	左ボタン	中央ボタン (設定)	右ボタン (終了)
押す	ブックマークをセット し、ストップウォッチを リセット	方位を設定	
長押し		設定した方位を消去	コンパスモードを終了

陸上での機能

ダイブ機能

メインメニュー

3つの押しボタンでメインメニューを簡単に操作

左ボタン
(下へスクロール)

中央ボタン
(上へスクロール)

右ボタン
(選択を確定)

酸素設定 > 02% 最大酸素分圧/MOD □

ダイブ設定 > MBレベル ダイブモード 安全停止タイマー 最大酸素分圧 最大酸素分圧
ナイトロックリセット時間 水面最大時間 窒素排出リセット 完全サイレントモード PDIS-PMG □

デジタルコンパス > コンパス使用 自動オフまでの時間 偏角 □

高度計 > 使用 調整 □

警告設定 > 最大深度 CNS O2=75% ノーストップ=2分 減圧停止が必要 潜水時間 タンク残圧
RBT=3分 タンク圧シグナル レベルストップが必要 MB停止を無視
MBレベル引き下げ完了 LO ノーストップ=2分 MB減圧停止が必要 □

時計設定 > 時計アラーム 時間 タイムゾーン □

その他の設定 > デバイス情報 ガス関連 バックライト点灯時間 バックライト強度 水検知
初期設定 機能アップグレード ソフトフェアアップグレード □

パーソナライズ > 画面設定 言語 スタートアップ画像 単位 運動負荷
所有者情報を表示 緊急時の情報 ディスプレイカラー □

画像 > 画像を表示 □

ダイブプランナー > 潜水計画 □

Bluetooth > 接続 □

ログブック > ログブックを表示 □

P/N 06.205.360

4種類のダイブ画面から選択します — ライト、クラシック、フル、グラフィカル

(「パーソナライズ」>「画面設定」)

画面を回転させて、ボタンの位置を画面下にすることもできます。

ライト画面には4種類の色オプションがあります。



クラシック



フル



グラフィカル



バッテリーを確認する

- G2は充電式リチウムイオンバッテリーで駆動します。
- ダイビング前に、毎回必ずバッテリー残量を確認してください。
- バッテリー警告が表示された場合は、バッテリーを交換してください。

警告!

G2のバッテリーが寿命に達したときは、必ずSCUBAPRO正規代理店まで交換をご依頼ください。

ご自分でG2を開けたり、バッテリー交換を試みないでください。

G2のハウジングやG2側面のメタルキャップを開くと、保証が無効になります。

バッテリーの交換は、水の浸入を防ぐために正規代理店で十分な注意を払って行う必要があります。バッテリーの不適切な交換やバッテリーキャップの締め方を誤ったことに起因する破損は、G2の保証対象外となります。

トランスミッターをペアリングする

方法1:自動

- トランスミッターを接続したファーストステージを満タンのタンクに取り付けます。
- G2の電源を入れ、時刻画面が表示されていることを確認してから、トランスミッターに近づけて(右図参照)、タンクのバルブを開きます。



方法2:手動

- トランスミッターを接続したファーストステージを満タンのタンクに取り付けます。
- G2の電源を入れます。
- 時刻表示から、左ボタンを押してメインメニューを開きます。
- 「その他の設定」までスクロールします。
- 右ボタンを押して確定します。
- 「その他の設定」メニューから、「ガス関連」までスクロールします。
- 右ボタンを押して確定します。
- 「ガス関連」メニューから、「Pairing」までスクロールします。
- 右ボタンを押して確定します。

- タンクのバルブを開くと、ペアリングの準備が整います。
- いずれの方法を使用しても、トランスミッターに圧力がかかると、G2にペアリングシーケンスが送信されます。
- G2がこの情報を受信すると、画面にタンクのラベルが一覧表示されます。
- 「Tank T1」までスクロールします。(Tank T1は、常にダイビング開始時のメインタンクとなります。)
- 右ボタンを押して選択内容を保存します。
- 次のメッセージでペアリングが確定されます:「PAIRING TO T1 SUCCESSFUL」
- この時点で、G2の画面にタンク圧が表示され、準備が整います。

心拍モニターの正しい位置と使用方法

- 心拍ベルトの位置を合わせます(右図を参照)。
- 快適にしっかりと固定できる位置にストラップを調整します。
- 心拍ベルトは肌に直接装着する必要があります。
- 肌が乾いているときや、ドライスーツでのダイビングでは、電極部を湿らせてください。
- 心拍ベルトの最大行動可能深度は197ft/60mです。



G2で心拍機能を起動する

- 時刻画面からメインメニューに移動し、Enterを押します。
- メインメニューから「パーソナライズ」に移動し、Enterを押します。
- 「運動負荷」(WL)に移動し、Enterを押します。
- 「Heart Rate(心拍数)」を選択し、右矢印を押して保存します。
- 「Max Heart Rate(最大心拍数)」に進み、MHRを設定し、右矢印を押して保存します。
- 「Base Heart Rate(基礎心拍数)」に進み、BHRを設定し、右矢印を押して保存します。
- 「Skin Temp(皮膚温)」に進み、オンに設定し、右矢印を押して保存します。
- 心拍機能と皮膚温機能が起動します。